

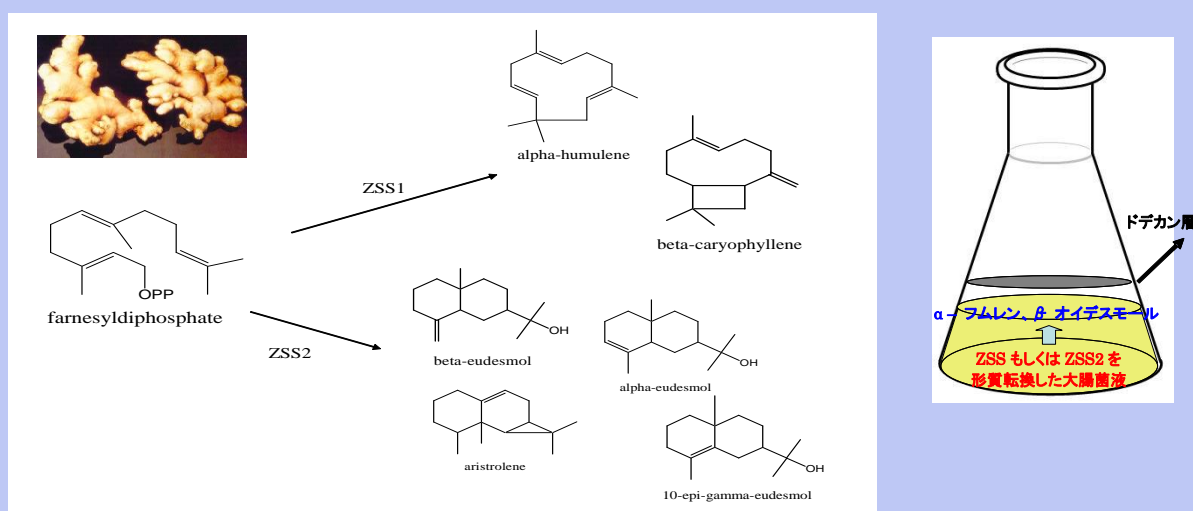


セスキテルペンシンターゼ活性を有するポリペプチドをコードする核酸

キーワード 細菌情報伝達阻害剤、MRSA、VRE、多剤耐性菌

研究内容の概要 : 植物特有のセスキテルペンを、微生物を用い大量生産可能。ハナショウガ由来セスキテルペン合成酵素遺伝子 (ZSS1, ZSS2) をそれぞれ保持する大腸菌を培養すると、一昼夜で、 α -フムレン、 β -オイデスマール等を培養液中に分泌生産可能。

微生物で、セスキテルペンの大量生産



特長／効果

- 植物由来のセスキテルペンの生産を、植物を栽培せずに大腸菌を用いて容易に大量に分泌生産が可能
- α -フムレンはアロマオイルの原料、 β -オイデスマールは漢方薬の主成分であり、これらの供給源となり得る

利用／用途

- 微生物発酵で、 α -フムレン、 β -オイデスマールの大量生産

知的財産権等情報

特許出願

特許第 5219025 号

論文等

2 編

農学部 バイオサイエンス学科 内海 龍太郎

URL: <https://www.kindai.ac.jp/agriculture/>

連絡先: 近畿大学 リエゾンセンター(KLC)

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1

E-mail: klc@kindai.ac.jp

TEL: 06-4307-3099 FAX: 06-6721-2356

URL: <http://www.kindai.ac.jp/liaison>